

アクアバランサー基本使用方法

減農薬栽培のお役に立ちます

作物名

施設(ハウス)栽培野菜

トマト、きゅうり、なす、ピーマン、いちご

使用例 < 10 a (1反) あたり >

時期	使用量	希釈率	使用方法
育苗	300cc × 3 回	約100倍	期間中 1 週間おきに 3 回ポットに散布 (根張り強化、樹勢強化)
土作り	10L	約100倍	堆肥すき込み時又は定植約 1 ヶ月前に土壤散布 (植物性残留物質分解 土壤強化) (有用微生物とその生成物質供給)
定植後	1L × 3 回	約500倍	7 日おきに灌水で適宜散布 (根張り強化、活着促進)
収穫時	1L × 6 回	約500倍	収穫時から月に 2 回程度 ミネラル酵素供給 葉面散布 (樹勢強化・品質向上) (さまざまな事柄に抵抗力がつきます)

* 使用量、回数、希釈率は基本参考数値です

使用上の注意

☆ 殺菌剤・殺虫剤、石灰チツソの併用は避けてください

☆ 通常の灌水量に希釈率をあわせて散布してください

使用効果

アクアバランサー使用生産者から以下の効果が報告されています

- ・ 葉の色つやがよくなった
- ・ 日持ちがよくなった

・ 収量の増加

・病気が減った

多様な微生物・酵素・アミノ酸・ミネラルの力で痩せた土壌は改善されます。有機な土壌もアクアバランサーを併用する事でさらに収量アップ・病気が軽減します。

年々、継続使用することでより土壌が強くなり品質も向上し、農薬コスト削減につながります。

●完熟堆肥とアクアバランサーを併用すると、微生物群がさらに活性化してより効果を発揮します●

* アクアバランサーは(財)日本食品分析センターの急性経口毒性試験(LD50)で実験上無害の最高値(20ml/kg)が証明されています。多く与えても弊害は一切ありませんので安心してご使用ください。

製造元 有限会社 クローネ

大分県 大分市 皆春 166-5